

小川北学区義務教育学校 開校準備委員会だより

【第8号】



このたよりは、小川北学区の義務教育学校の開校に向けた準備の情報をお届けするものです。今号では、第9回開校準備委員会の様子をお知らせします。

第9回開校準備委員会を開催

2月26日（火）に第9回開校準備委員会を開催しました。今回の委員会では、平面計画について協議しました。



配置・平面計画

前回の委員会の意見をもとに修正した、配置・平面計画についての協議を行いました。今回の委員会での協議により、基本設計（配置・平面計画）が決定しました。来年度は、決定した基本設計に基づき、機能やデザイン等の詳細な設計を進めていきます。

前回の委員会において出された意見についての教育委員会及び学校の考え方は、下記のとおりです。

なお、設計により対応するものを<設計>、学校運営により対応するものを<学校>としています。

（1）学校前の横断歩道の位置

- ・歩行者を優先するのであれば、位置を変更してはどうか。
→関係機関と今後協議する。【図A】

（2）児童生徒の見守りや安全面

- ・サブグラウンドから車道への子どもの飛び出しが心配。
→<設計>サブグラウンドの出入口には子供の飛び出し防止の対策を行う。【図B】
- ・保健室からサブグラウンドが遠く、児童が怪我をした時の対応が心配。
→<設計>保健室へのスムーズな動線の確保のため、既存体育館の渡り廊下接続部から校舎へ直接入れるように動線を確保する。【図C】
- ・1・2年教室の近くに、教職員の待機場所を整備できないか。
→<学校>現在の学校においても、待機場所は設けておらず、低学年担任の教職員は、休み時間等でも、教室にいることがほとんどである。

（3）来校者対応

- ・PTAの会議等で会議室2を利用する際、校務センター※と離れていると不便。
→<設計>会議室については、利用の決まりを設けず、用途に合わせて会議室1及び会議室2のどちらも利用できるようにする。【図D】
- ・来校者にすぐ対応できるように、校務センターから近い位置に来客用玄関を設けてほしい。
→<設計>校務センターの北側に職員来客用玄関を設置する。【図E】

※校務センター：職員室

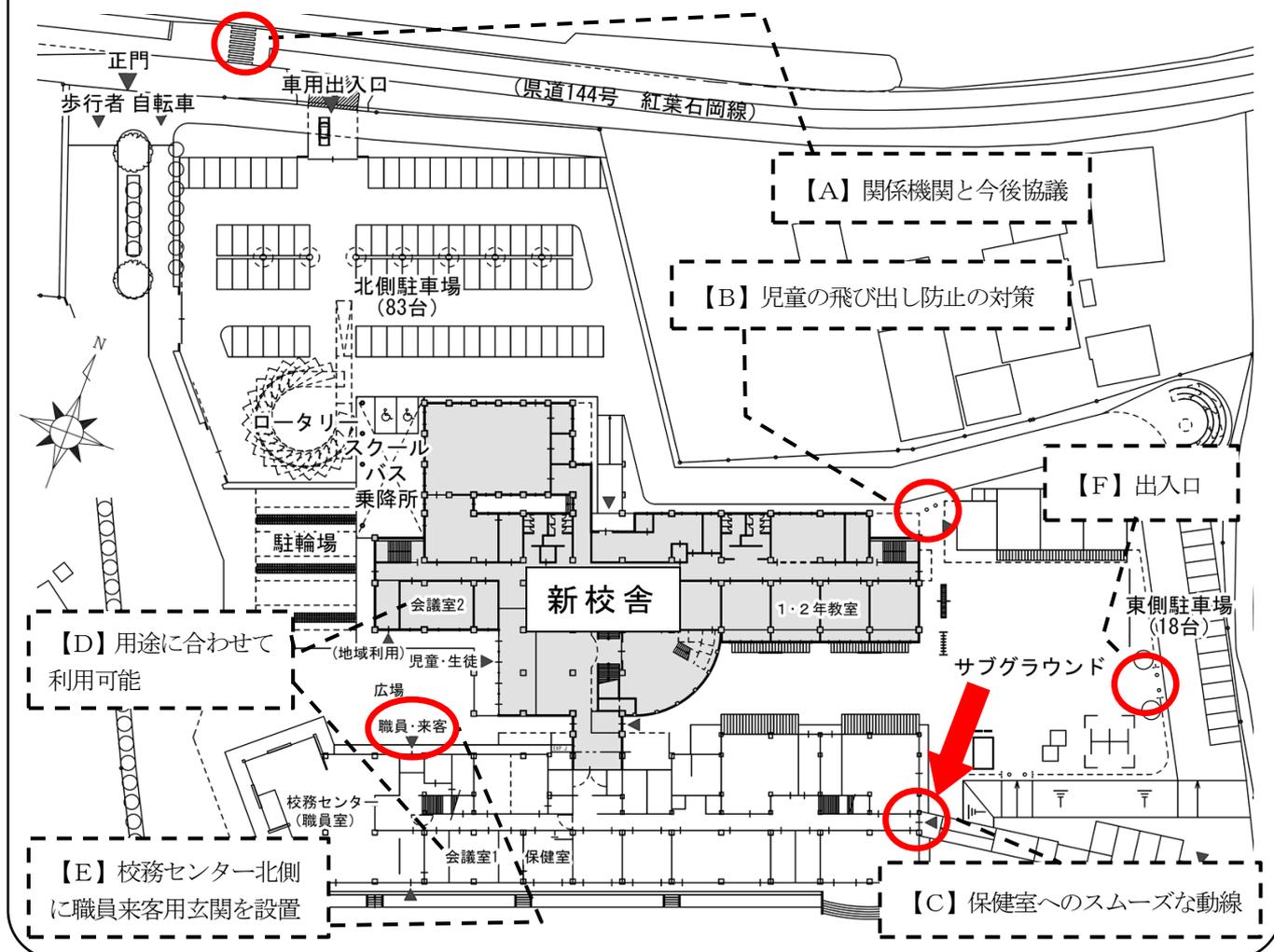
（4）トイレ

- ・和式トイレがひとつはあってもよいのではないか。
→<学校>衛生管理面を考慮し、新校舎には洋式のみとする。

(5) サブグラウンド

・校舎の管理上、校舎間に車両が入れるようにしてほしい。

→ <設計>サブグラウンドの遊具の配置を調整し、サブグラウンド東側に出入口を設ける。【図F】



● 協議の中での主な意見

・男子児童が、個室トイレに入ることへの恥ずかしさを考慮して、全て個室にはどうか。

→ 全て個室とした場合、便器の数が少なくなってしまうという懸念がある。

今後、教育委員会と学校で改めて協議し、どちらの方が使いやすいか検討する。

来年度の準備委員会

来年度の委員会では、学校名や新しい体操服、教育課程、PTA組織等、平成35年の開校までに決定すべき具体的な内容について、専門部会を設置し、検討を進めていきます。

開校準備委員会の日程は、市のホームページでお知らせしています。委員会は、自由に傍聴できますので、詳細は事務局までお問い合わせください。

発行：小川北学区義務教育学校開校準備委員会

(事務局) 小美玉市教育委員会

施設整備課 学校づくり推進係

〒311-3492 小美玉市小川4-11

電話 0299-48-1111 (内線2212・2216・2217)

Eメール shisetsu@city.omitama.lg.jp